

株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス
2018年(平成30年)3月期 決算説明会

日時:2018年5月18日(金) 16:00~16:50

場所:大和コンファレンスホールA1

出席者:代表取締役社長 蒔田 穂高

取締役 柳 漢呉

執行役員 管理本部長 加藤 節郎

当説明会では、『2018年(平成30年)3月期の状況』と『パチンコ・パチスロ市場環境と2019年(平成31年)3月期の取組み』について説明いたしました。

以下、主なご質問の紹介です。

Q1. 管理遊技機の開発費を今期かけるとのことだが、事業展開の時間軸等どのように考えているのか。

A. 管理遊技機の主体は遊技機側で、従来のECO遊技機概念から少し変更があり遊技機メーカーを含め調整をしている段階の為、時間軸に関してはお答え出来かねる状況でございます。弊社としては、今期の一番重要な課題であると考えており、円滑な導入のために開発や営業等々の企画、展開、販売予測につきまして現在検討中でございます。

Q2. 社長就任以降の改革の進捗について達成している点と課題と感ずる点は何か。

A. 社内体制についてはほぼ想定通りに進んでおりますが、既存の商品・サービスについては遊技業界全体の流れが不透明な中で、仕掛ける要素をはっきり見定められないことが課題と感ずております。今後ホール様の状況等も考慮して既存の商品・サービスに何かを積み重ねた上で進めていかなければならないと考えております。

Q3. 消費税増税一年前ということで入替特需があるのではないかとのことだが、前回増税時には入替需要は余りなかったように感ずたが、どのように考えているのか。

A. ホール様に話をお伺いしていると10%への増税時では何か変化があるのではないかと感ずられております。弊社の期待的予想ではありますが、新しい商品に変えて頂き消費税増税対応をして頂くということが考えられると思っております。

Q4. 配当について一時期60円で安定的に配当していたが、今期予想35円からいずれ60円に戻すことは考えているのか。

A. 60円が適正かどうかはわかりませんが、業績とのバランスを検討しながらにはなりますが、株主様のご期待に添えられるように上げていきたいと考えております。